

大津市市長選立候補予定者へのアンケート回答結果

しがの里山や川を美しくする会

アンケートの設問

- あなたは、大津市北部に焼却場、最終処分場、汚染土壌処理施設、産業廃棄物処理施設などが13ヵ所以上存在して、近畿圏から大量の残土・汚染土壌・産業廃棄物が運び込まれていることをご存じでしょうか。
(知っている。 少し知っている。 知らない。・・・○で囲む)
- 知っておられる方。見に行かれた場所をお答え下さい。
- 大津市は土砂条例を改正し（2014年）規制を強化しましたが、その実効は十分あがっていると思われませんか？
(上がっている。少し上がっている。上がっていない。・・・○で囲む)
- 湖西道路和邇インター付近は、Y商店（株）が資材と称する物を積み上げ、あたかも「産廃富士」のような景色が出現しました。（別紙：ニンビーマップ⑩）。あなたはこの問題にどのように対処されようとしていますか？
- 水源地である琵琶湖の周辺に、資材（と称している物）・残土・汚染土壌・産業廃棄物を捨て続ければ、やがて琵琶湖に流れ出し、1450万人の飲料水に影響すると思われませんが、琵琶湖水系の環境保全について、ご意見をお聞かせください。



回答

	川内 たかし	かわもと勇	越 直美	つただ恵子
1	知っている	知っている	知っている	知らない
2	北部廃棄物最終処分場。また、かつて和邇中の産業廃棄物不法投棄現場に、当時の岩佐恵美参議院議員と調査に訪れました。	①②③伊香立途中町地先：碎石処理工場に隣接する産業廃棄物処理施設および汚染土壌処理施設の外観と排水溝付近 ⑥栗原地先：比叡山大霊園に隣接する残土処分場 ⑨⑩和邇インター付近の残土処分場および資材置き場 遠望 ⑪伊香立南庄町地先：残土処分場	北部クリーンセンター（焼却施設：市施設） 北部廃棄物最終処分場（市施設） 比叡山大霊園横残土処分場 和邇IC横資材置き場等現場	一般廃棄物最終処分場 大津施設（伊香立下龍華町） 残土処分場（伊香立下龍華町）
3	少し上がっている	上がっていない	土砂条例を改正し、全国的にも厳しい条例としたが、更なる規制強化が必要であり、今後、全国で最も厳しい条例とするために、再度、土砂条例を改正する。	少し上がっている

大津市市長選立候補予定者へのアンケート回答結果

	川内 たかし	かわもと勇	越 直美	つただ恵子
4	<p>法のあみ目をかいくぐる違法行為が各地で散見され、抜本的には法改正による規制強化が必要ですが、大津市として徹底した立入検査等を行い、違反者への厳格な監督と行政処分を行います。また、条例による規制強化をはかります。</p>	<p>新たな改正条例案が 2月通常会議に上程されると承知しています。市議会での真摯な審議や議決を仰ぎます。そして、条例の改正内容を、市民のみなさんに分かりやすく説明し、土地の貸借や売買に際して、留意されたいことを徹底します。</p> <p>庁内的には、まず担当部の人員配置を強化します。警察の協力も得られるよう努力します。人事異動の際の引継ぎを正確に行い、課題を見過ごさないようにします。次に、新条例に基づき、期限を区切って事業者から関係書類の提出を求め、立ち入り調査を行います。許可内容に合致していなければ、条例に則って厳正に対処します。またその状況を、周辺住民のみなさんに知らせます。</p> <p>なお、土砂や廃棄物の違法な投棄問題は、地元住民のみなさんが日常的に感じておられる通行車両や景色、河川の状態などの情報も、貴重な手がかりとなり、今後も協働を進めます。将来にわたって安全で健康な暮らしを続けるために、ご指摘の現場における問題は、第1番に取組むべき課題と認識し、厳正に対処します。</p>	<p>現在搬入されている土砂は、建設資材、また過去に別の業者が行った不法投棄の是正のための資材の仮置きと聞いている。資材の仮置きでない事態となれば、法令等に基づき厳正に対処する。</p> <p>これまでも、現地での土砂の検査を実施し、また現場の雨水が流れ込む喜撰川の水質調査を実施している。これまで、特に汚染等問題は確認されていないが、今後も調査を続け、問題が確認されれば法令等に基づき、厳正に対処する。</p> <p>なお、汚染土壌等の問題は見られないものの現地の状況については、法令上の疑義があり、現在、事業者に対し、状況の聴取を行っているところであり、違反が確認されれば、法令等に基づき厳正に対処する。</p>	<p>景観を守っていくことは大切なことだと考えます。また、Y商店(株)様は法律に従って産廃を行われています。周辺住民のご意見をお聞きし対処していきます。</p>
5	<p>違法な埋め立てや不法投棄の抜本的な解決には、排出者責任を徹底して追及することが必要です。「琵琶湖再生法」を生かして国政・県政・市政が連携してびわ湖の水環境を守るとりくみを強めます。</p>	<p>琵琶湖は、マザーレイク。多くの生命を宿らせている唯一無二の水源地です。その現流域は、最も清らかで、山林労働や山間地の皆さんの協働作業などで維持されてきました。しかし、都市部での開発のために建設残土などが大量に発生し、林道の開設や湖西道路の無料化などで、不法投棄が大規模化、常態化し、琵琶湖の環境保全には重大な影響をもたらしています。管理監督権は滋賀県から大津市に移譲されましたが、河川が流入する琵琶湖管理は滋賀県であることから、ともに淀川水系の保全をはかる行政として、連携を強化します。できれば、投棄場などの周辺の水質検査をきめ細かく実施します。生き物の状況をこどもたちも参加しながら調査をするなど、川上から川下までの住民参加を維持することと合わせ、事業者が社会的責務を確実に果たされるよう全力で取組みます。</p> <p>都市部の快適な生活と表裏一体の関係ともいえる山間部の廃棄物問題に取組むため、他市長の首長とも連携を図ります。</p>	<p>琵琶湖の湖底における無酸素化(酸素欠乏?)が進んでいることや、泥がたまり水草が繁茂する現状は問題だと考えている。貴重な生態系を有する琵琶湖は、大津市民にとっての宝であり、その水は近畿1400万人が利用する命の水でもある。したがって、その環境保全は、大津市民にとって重大な課題のひとつであり、それを守るためには大津市も全力で取り組んでいくべきだと考える。</p>	<p>琵琶湖水系の環境保全は、市民生活、観光などの観点からとても大切なことだと考えていますが、南湖の水面下のヘドロの課題は様々な要因が考えられます。例えば、護岸工事のために湖周から砂浜がなくなったことも要因と考えます。総合的な観点から琵琶湖の保全を図っていきます。</p>